

金光大神が天地金乃神からおかげを受けていることを話にして聞かせるのである。疑って聞かない者はしかたがない。かわいいものである。また時を待っておかげを受けるがよい。めいめいに子をもって納得せよ。親の言うことを聞かない子が一番つまらない。言うことを聞かない子は、親もしかたがなかろう。

……「天地は語る」第八十一条……

### 解説

教祖金光大神様が、人生の数々の苦難の中にも、一心に神信心を貫かれた為に、遂に天地金乃神様に出会われたのであります。そして、その教えを受けられてからは、その後のご自身の難儀のみならず、参ってくる数々の人々の苦難を次々と救済されました。それでも中には、その教えを疑って聞こうとしないために、助からないままの人もあります。金光大神様は、その人達を、かわいい（可哀そう）と憐れんで、助かるために早く、神の教えの尊さに気付いてほしいとの思いを親子の関係を例にとって述べられ、祈り通されているお姿が伺えるお言葉であります。